

講義名称	教育相談	担当教員名	成田 小百合
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 (PM) 選択	単 位	2
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CLTT2202

授業のキーワード	こども理解 カウンセリング コンサルテーション
授業の概要	保育者の専門性を生かした教育相談を展開できるように、映像教材や相談事例、ロールプレイを通してカウンセリングの基礎的知識も含めつつ、実践的に学習していく。
期待される学習成果 (目標)	1 子どもの特徴や発達を理解し、相談やコンサルテーションの方法を習得する。 2 保育における教育相談内容を知り、教育相談の基礎知識を身につける。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	幼稚園における教育相談とは	教育相談の今日的課題
2	相談ニーズとカウンセリングマインド	カウンセリングマインドとは何か。
3	乳児期の発達理解と相談・支援	2歳未満の子どもの発達の様子
4	幼児期～青年期の発達理解と相談・支援	青年期までの子どもの発達の様子
5	子育て支援の視点からみた保護者対応	親育ちのための発達支援
6	発達障がいや気になる子どもへの理解	発達障害や気になる子どもとは？
7	気になる子どもへの保護者とのかかわり	保護者への関わりにおいて保育者が留意すること
8	子ども理解のためのアセスメント	幼児期の心理発達とアセスメント
9	カウンセリング基礎理論	受容・共感・自己一致
10	保育場面でのカウンセリングの基本事項	カウンセリングとは？
11	保育場面でのカウンセリング技法	カウンセリングの技法
12	園と地域における専門家との連携	コンサルテーションとは？
13	コンサルテーション事例	事例検討
14	保育者の専門性と相談活動	事例検討
15	まとめ	対人関係の基礎トレーニング

定期試験	教育相談に関する基本的事項を問う記述試験を実施する。
授業時間外学習	授業の前に、教科書の指定箇所を熟読し、問題意識を持ち授業に臨みます。ミニレポート課題があります。
評価方法	課題レポート20% 期末試験80%
使用する教科書 (必ず購入してください)	小田豊・秋田喜代美「子どもの理解と保育・教育相談」 (株)みらい
参考文献	富田久恵「保育カウンセリングの原理」 ナカニシヤ出版 伊藤健次「子ども臨床とカウンセリング」 (株)みらい